一人称の使い分けと印象形成

安藤ゼミ　橋上華

問題関心

◆日本語において一人称は多数存在する

◆長田瑞恵（2010）

「おれ/あたし」より「ぼく/わたし/固有名詞」の方がより誠実で、調和性の高い印象を与える

◆長田瑞恵（2010）の研究以外に、使用する一人称が印象形成に与える影響について検討した研究は少ない

➡ 使用する一人称が印象形成に与える影響について着目

研究の目的

◆使用する一人称によって、印象形成にどのような違いがあるか明らかにすること

・「私」を使用する人物と、「自分の名前」を使用する人物に対する印象形成の違い

・「僕」を使用する人物と、「オレ」を使用する人物に対するの印象形成の違い

シナリオ実験概要

【期間】

2021年8月28日～2021年9月9日

【対象者】

大学生128名（男性23名、女性103名、性別について答えたくない2名）

【方法】

Googleフォームを用いたシナリオ実験

シナリオ実験概要

◆4種類の自己紹介文（一人称：「私」「自分の名前」「僕」「オレ」）を提示し、特性形容詞尺度20項目で印象評価

◆場面：他大学とのサークルの交流会での自己紹介

【例１】高橋美咲、21歳です。私は滋賀県出身です。今は東京に住んでいます。私は、A大学 に通っていて、社会学を学んでいます。私の趣味は読書です。好きな食べ物は焼肉です。よろしくお願いします。

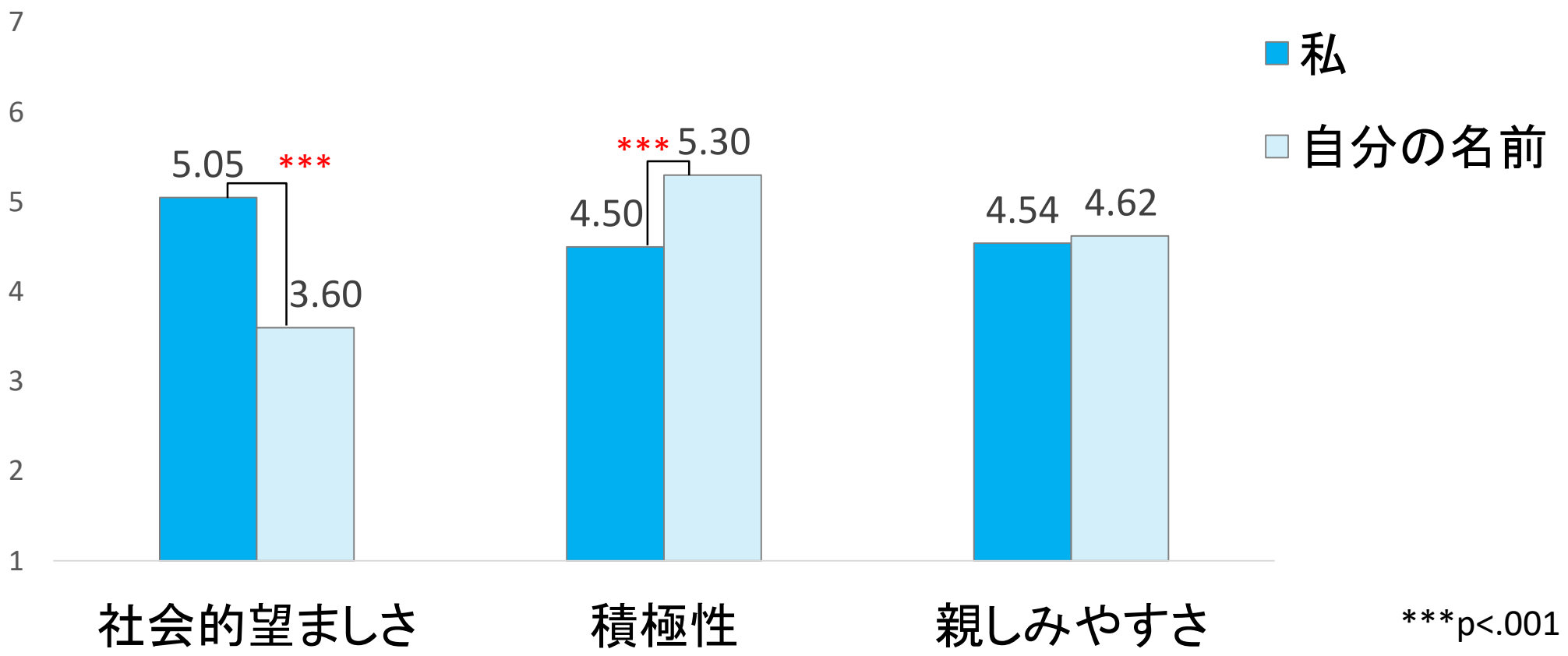
【例２】高橋美咲、21歳です。美咲は滋賀県出身です。今は東京に住んでいます。美咲は、A大学 に通っていて、社会学を学んでいます。美咲の趣味は読書です。好きな食べ物は焼肉です。よろしくお願いします。

結果①

特性形容詞尺度20項目に対し、因子分析を行った

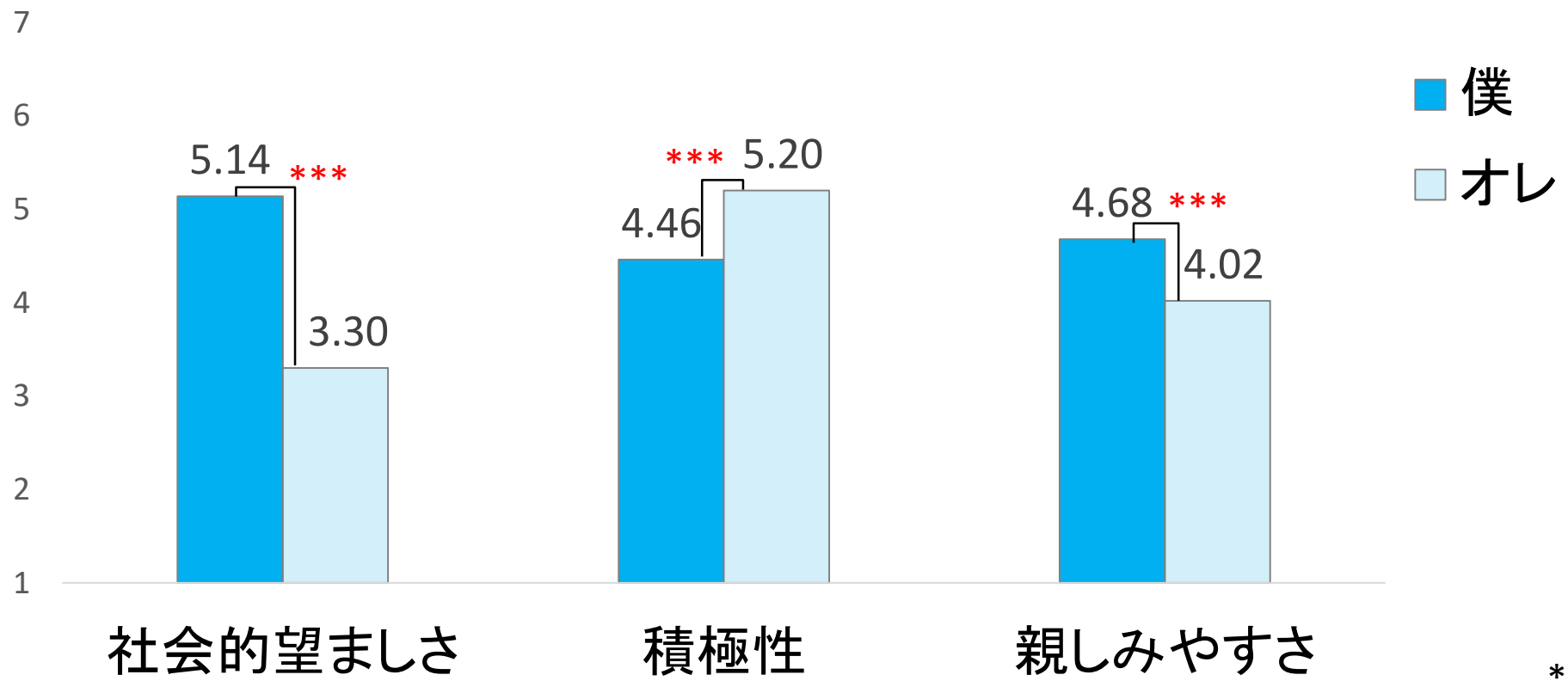
社会的望ましさ	責任感のない―責任感のある 軽率な―慎重な 無分別な―分別のある	など10項目
積極性	消極的な―積極的な 自信のない―自信のある	など6項目
親しみやすさ	近づきがたい―人懐っこい にくらしい―かわらしい	など4項目

結果②「私」と「自分の名前」



***p<.001

結果③ 「僕」と「オレ」



***p<.001

考察

◆使用する一人称によって印象形成に違いがある

社会的望ましさ	積極性	親しみやすさ
「私」>「自分の名前」 「僕」>「オレ」	「私」<「自分の名前」 「僕」<「オレ」	「私」と「自分の名前」で有意な差はなし 「僕」>「オレ」

親しくない相手に対しては「私」「僕」の使用が適切であるという社会的マナー

「自分の名前」「オレ」は親しい相手に対して使用する傾向

ご清聴ありがとうございました。